平成23年度雇用失業統計研究会（第３回）資料

資料４

就業構造基本調査の結果からみた就業状態の把握方式の違いに関する考察

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

1

目次

- １.研究の背景
  - （１）アクチュアル方式とユージュアル方式
  - （２）就業構造基本調査の概要
  - （３）先行研究
- ２.研究目的
- ３.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
  - （１）整合的でない有業者
  - （２）整合的でない無業者
- ４.まとめ

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

2

1　研究の背景
（1）アクチュアル方式とユージュアル方式

就業状態を把握する２つの概念

- アクチュアル方式（労働力方式）
  …参照期間中の状態を把握
- ユージュアル方式（有業者方式）
  …ふだんの状態を把握

【1982年 第13回国際労働統計家会議（ILO）】

■ ユージュアル方式についての記述
労働力調査が頻繁に実施困難な場合の方法として紹介

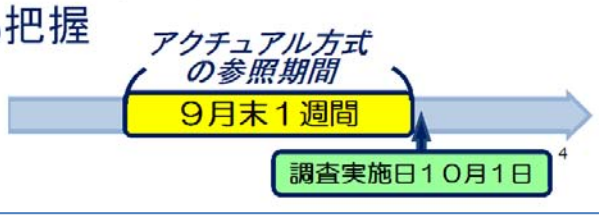
総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

3

1　研究の背景
（2）就業構造基本調査の概要

- 目的：我が国の就業構造や就業異動の実態、
  就業に関する希望など把握するための調査
- 周期：1956年（第1回）から82年（第10回）までは概ね3年ごと、
  1982年以降は5年ごとの実施
  次回は2012年（平成24年）
- 規模：15歳以上の約100万人（約45万世帯）
- 就業状態の把握方式：ユージュアル方式

※ ただし、平成14年及び19年においては
アクチュアル方式も把握



総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

4

1　研究の背景
（3）先行研究

- 稲葉由之(2007)．日本経済研究，No.56
  有業者方式と労働力方式に基づく2種類の失業者の比較
  - **両方式の失業者の比較**（平成14年就業構造基本調査）

男女計（万人）			ユージュアル 無業者 失業者	ユージュアル 無業者 失業者以外
アクチュアル	総数		395	4,022
	労働力人口	就業者	19	52
		完全失業者	A 215	B 78
	非労働力人口		C 160	3,884

・BとCの属性をAと比較すると、Aに近いのはB

・Cは、就業への緊要度が低い。
（女性、離職期間が３年以上が多い）

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

5

2　研究目的

平成19年調査における統計審議会の答申（抜粋）

今後の課題

ふだんの就業状態については、前回調査の答申において、本調査におけるユージュアル・ベースの就業状態のとらえ方について（中略）ユージュアル・ベースの調査事項とアクチュアル・ベースの調査事項のクロス集計に基づく結果の分析等に基づき、引き続き検討する必要がある。

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

6

2　研究目的

- 平成19年就業構造基本調査における両方式による就業状態

男女計（千人）		ユージュアル		
		総数	有業者	無業者
アクチュアル	総数（15歳以上人口）（注）	110,302	65,978	44,324
	就業者	65,059	64,368	③ 691
	仕事を探していた	2,635	① 140	2,496
	非労働力人口	40,978	② 463	40,516

（注）総数には、アクチュアルベースでの就業状態の不詳を含む。

①～③の合計は、1,294千人（総数の約1.2%）

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

7

2　研究目的

- 本発表では

平成19年調査の個票データを用いて
①～③について詳細なクロス表を作成

両方式による就業状態の回答が
整合的でないケースの主な属性を把握
↳ 就業状態の組合せが異なる

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

8

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
（1）整合的でない有業者

□ 602千人（有業者全体の約0.9%）

		ユージュアル 有業者（千人）	ユージュアル 割合（%）
アクチュアル	総数(注)	65,978	100.0
	就業者	64,368	99.1
	仕事を探していた	① 140	0.2
	非労働力人口	② 463	0.7

(注) 総数には、就業状態の不詳を含む。
割合は、不詳を除く総数に占める値である。

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

9

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
（1）整合的でない有業者

男女計（千人）		ユージュアル 有業者 総数	仕事が主	通学が主	家事が主	家事・通学以外が主
アクチュアル	総数	602	286	72	206	37
	仕事を探していた	① 140	107	2	26	5
	非労働力人口	② 463	179	70	180	32
	通学	79	9	69	0	1
	家事（育児・介護を含む）	149	43	1	100	5
	その他（高齢など）	234	127	0	80	26

整合的でない有業者
602－194＝408千人（有業者の0.6%）

Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

10

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
（1）整合的でない有業者

- ユージュアル：仕事が主
  アクチュアル：非労働力人口のうちその他（高齢など）
  12万7千人（整合的でない有業者に占める割合31.2%）

〈主な属性別特徴〉

- 60歳以上が10万1千人（約8割）
- 雇用者（役員を除く）が4万8千人（約4割）
  ↳うち非正規職員・従業員が3万2千人
- 雇人無しの自営業主が4万7千人（約4割）
  ↳うち農業従事者が2万1千人

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

11

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
（1）整合的でない有業者

男女計（千人）		ユージュアル 有業者 総数	仕事が主	通学が主	家事が主	家事・通学以外が主
アクチュアル	総数	602	286	72	206	37
	仕事を探していた	① 140	107	2	26	5
	非労働力人口	② 463	179	70	180	32
	通学	79	9	69	0	1
	家事（育児・介護を含む）	149	43	1	100	5
	その他（高齢など）	234	127	0	80	26

整合的でない有業者
602－194＝***408千人（有業者の0.6%）***

12

Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
（1）整合的でない有業者

- ユージュアル：仕事が主
  アクチュアル：仕事を探していた
  10万7千人（整合的でない有業者に占める割合26.1%）

〈主な属性別特徴〉

・35歳未満が4万8千人（4割以上）
・雇用者（役員を除く）が8万5千人（約8割）
　↳うち非正規職員・従業員は5万7千人
● 継続就業期間1年未満の者が5万4千人（約5割）
　↳うち調査月(平成19年10月)に就業開始した者が3万人

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

13

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性
（2）整合的でない無業者

- *691千人（無業者全体の約1.6%）*

		ユージュアル	
		無業者（千人）	割合（%）
アクチュアル	総数(注)	44,324	100.0
	就業者	③ 691	1.6
	仕事を探していた	2,496	5.7
	非労働力人口	40,516	92.7

(注) 総数には、就業状態の不詳を含む。
割合は、不詳を除く総数に占める値である。

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

14

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性

（2）整合的でない無業者

	男女計（千人）	ユージュアル 無業者 総数	通学	家事	その他
アクチュアル 就業者	総数	691	94	329	258
	主に仕事	178	3	55	113
	通学のかたわら	92	89	1	3
	家事のかたわら	271	0	221	46
	仕事を休んでいた	151	2	53	97

整合的でない無業者

691－310＝ ***381千人（無業者の0.9%）***

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

15

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性

（2）整合的でない無業者

- ユージュアル：無業でその他（家事、通学以外）
  アクチュアル：主に仕事をしていた
  11万3千人（整合的でない無業者に占める割合29.7%）

〈主な属性別特徴〉

- 男性が8万3千人（約7割）
- 60歳以上が4万3千人（約4割）、35歳未満が4万人（約4割）
- 前職の離職時期が、調査日の前月(平成19年9月)の者が6万1千人（5割以上）

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

16

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性

（2）整合的でない無業者

	男女計（千人）	ユージュアル 無業者 総数	通学	家事	その他
アクチュアル 就業者	総数	691	94	329	258
	主に仕事	178	3	55	113
	通学のかたわら	92	89	1	3
	家事のかたわら	271	0	221	46
	仕事を休んでいた	151	2	53	97

整合的でない無業者

691－310＝ ***381千人（無業者の0.9%）***

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

17

3.就業状態が両方式間で整合的でない者の属性

（2）整合的でない無業者

- ユージュアル：無業でその他（家事、通学以外）
  アクチュアル：仕事を休んでいた
  9万7千人（整合的でない無業者に占める割合25.3%）

〈主な属性別特徴〉
- 男性が7万5千人（約8割）
- 60歳以上が4万8千人（約5割）
- 休んでいた理由別では →

仕事を休んでいた理由

総数（千人）	97
病気・けが	30
育児	0
介護・看護	4
休暇	3
その他	59

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

18

4．まとめ

- 整合的でない者の多くは、
  - 有業者では
    - ・高齢者、非正規雇用者又は雇人無しの自営業主
    - ・若年者、非正規雇用者、継続就業期間が短い者
  - 無業者では
    - ・前職の離職時期が調査直前であった者
    - ・高齢者（仕事を休んでいた者）

就業状態が安定していない者

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

19

4．まとめ

- アクチュアル方式は、参照期間を短くすることで曖昧さを排除し、より客観的な就業状態を把握することができることから、就業状態の時系列変化をみるのに適切
  ただし、月末１週間の状況に左右されるため、構造面の把握という観点からは、安定しない面がある。
- 一方、ユージュアル方式は、参照期間が長いことからふだんの状況を把握できるので、就業状態の構造面を捉えるのに適切

総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs and Communications

20